

から

(灯台や測候所の廃止も同様) からの

日本は100を越える灯台や測候所の
廃止は然るべきであるが、その「失業」を生むものも
同様である。

必然的に省力をもたらし、経済のパイを大きくするとは、限らないことである。たとえ、
物の改札の自動化がいかにも多くの省力化（失業）を生んでいるかを見れば明らかであ
る。②が再び脚光をあびる可能性を否定しきれない大きな要因となっているのかもしれ
ない

④世界がこれらディレンマから脱却して次の百年への展望をもつには…

真の危機を認識して
への

それは世界の先進国も途上国も新興国も、そして「転落国」？も生存を賭けてそれぞれ
の力に応じてコミットせざるを得ないような、「壮大なプロジェクト」を地球人類が創
案できるかどうかではないだろうか。

(以下、筆者は本年の当ブログ中で順次論じさせて頂く。)